

関節リウマチ滑膜炎の時代的変遷に関する検討：Rooney スコアを用いた 1776 検体の解析に関する臨床データの研究利用についてのお願い

【研究の概要・背景】

関節リウマチ（rheumatoid arthritis: RA）は、慢性的な滑膜炎を特徴とする自己免疫疾患であり、関節破壊や機能障害を引き起こします。近年、生物学的抗リウマチ薬（biological DMARDs: bDMARDs）や JAK 阻害薬の導入により、RA 治療は大きく進歩し、多くの患者さんで疾患活動性の改善が得られるようになってきました。一方で、こうした治療戦略の進歩に伴い、滑膜組織レベルで炎症所見がどのように変化しているかについては、十分には明らかになっていません。本研究では、新潟県立新発田病院リウマチセンターにおいて整形外科手術時に採取された滑膜組織標本および診療情報を用いて、Rooney score による病理学的評価を行い、関節リウマチ滑膜炎の時代的変遷について検討します。

【試料・情報の利用目的・方法】

本研究では、通常診療の過程で取得された既存の診療情報および病理組織情報を用いて解析を行います。収集する情報には、年齢、性別、疾患罹病期間、血液検査、画像所見、疾患活動性指標、使用薬剤、病理組織所見などが含まれます。対象となる滑膜組織は、通常診療として実施された整形外科手術時に採取された既存検体であり、本研究のために新たな検査や侵襲を追加することはありません。研究は長岡赤十字病院を共同研究機関として実施され、取得した情報は研究用 ID を付与したうえで管理し、氏名や患者 ID など個人を特定できる情報は研究には使用しません。研究成果は学会および学術論文として公表する予定ですが、個人を特定できる情報が公表されることはありません。

【対象者・期間】

対象者：2011 年から 2025 年までに新潟県立新発田病院リウマチセンターにおいて関節リウマチに対する関節手術を施行され、滑膜組織検体が採取された方
研究期間：倫理委員会承認日から 2027 年 12 月 31 日まで

【データ利用のお願いと申し出について】

本研究は、通常診療で得られた既存情報を用いて実施する後ろ向き観察研究であり、患者さんに新たな負担や不利益はありません。本研究への情報利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。研究不参加を申し出られた場合でも、今後の診療等において不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院
担当医師：須藤真則

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1
電話：0258-28-3600(代)、FAX:0258-28-9000(代)